

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会

2020年の開催が正式に決定!

7月18日(火)、(公財)日本体育協会の理事会において、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の開催が正式に決定し、併せて会期が2020年10月3日(土)～13日(火)までの11日間とされました。

また、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の会期については、同年10月24日(土)～26日(月)までの3日間とすることと決定しました。



開催決定書を受け取る三反園知事(向かって右)

9月9日(土)には、両大会の開催決定記念イベント「燃ゆる感動かごしまスポーツフェスタ」を開催しました。

3年後の両大会が、鹿児島の多彩な魅力を発信し、心に残る大会となるよう、県民総参加のもと「オール鹿児島」で盛り上げていきましょう!



スポーツフェスタでのダンス披露

アスリートの情熱

今村 風沙さん

テニス



「かごしま国体で活躍したい」

両親の影響で5歳からテニスを始めた今村さん。小学校時代に初めて出場した大会で優勝し、勝つ喜びを知ったことで本格的にテニスに取り組み始めました。中学3年、高校3年時には見事九州チャンピオンに輝き、2017年鹿屋体育大学に進学しました。

週に2回の休み以外は、まさにテニス漬けの毎日。オンとオフの切り替えを大切にしています。「レベルの高い先輩方が多いので、私も負けていけないなど。実は私、結構な負けず嫌いなんですよ(笑)」現在、九州学生テニス選手権大会で二連覇中。さらに昨年は、全日本テニス選手権にも初出場。1回戦でプロ選手に勝ち、「強くなりたい」「上手になりたい」という思いがさらに強くなったそうです。

また、今年度開催されたえひめ国体には、鹿児島県代表として出場。「これまで熊本県代表として出場していたので、少しだけ違和感がありました。ですが、代表という誇りを持って競技をすることはどこでも同じなので、2020年のかごしま国体はすごく意識していますし、ぜひ鹿児島県代表として出場したいと考えています。」

PROFILE

いまむら・なぎささん 熊本県出身。5歳からテニスを始め、中学・高校時代ともに九州チャンピオンに。2017年鹿屋体育大学に入学。九州学生テニス選手権大会二連覇中(春季・秋季)。えひめ国体には鹿児島県代表として出場。

国体は1チーム2名の団体戦だぶ～



かごしまっふ

2020年のかごしま国体・かごしま大会に向けて、会場地市町村ではさまざまな準備を進めています。実施競技とともにスタッフの声を紹介します。

薩摩川内市

充実のスポーツ施設とおもてなしが自慢

美しい自然と古い歴史が魅力の薩摩川内市。スポーツ施設が充実していることから、国内実業団や韓国プロ野球チームなどの宿舎地としても知られています。かごしま国体ではバスケットボール、ホッケー、ウエイトリフティング、軟式野球、空手道の5競技が実施されます。現在、各競技会場の改修・補強工事が行われており、大会開催へ向けて準備に余念がありません。

また、来年1月開催予定の「国体スポーツフェスタinさつまぜんだいで」では競技体験やデモンストレーションによる競技の紹介などを通じて、市民の皆さまにもかごしま国体をより身近に感じていただければと考えています。薩摩川内市全域で最高のおもてなしができるよう、最善の準備をしていきたいです。

○薩摩川内市 商工観光部国体推進課 TEL:0996-23-5111

実施競技

- バスケットボール
- 軟式野球
- ホッケー
- 空手道
- ウエイトリフティング

太陽国体ではバスケットとホッケーが開催されたんだぶ～

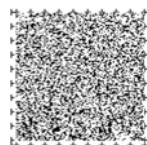


国体企画グループ長 前園 武大さん
課長代理兼競技式典グループ長 石原 勝浩さん
課長 田中 英人さん
国体企画グループ員 中村 順一郎さん



サンアリーナぜんだいで【実施競技:バスケットボール、空手道】
薩摩川内市総合運動公園の敷地内にある。全施設に空調設備が完備されているので非常に快適。

チームワークの良さを薩摩川内市を盛り上げます!



第75回国民体育大会・第20回全国障害者スポーツ大会広報紙 vol.5 2017年12月発行

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会
(事務局:鹿児島県国体・全国障害者スポーツ大会局内)
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL 099-286-2874 FAX 099-286-5553
E-mail kokutai-koho@pref.kagoshima.lg.jp

音声コード

かごしま国体ホームページ



スマートフォン対応
スマートフォンやタブレットでも、最新情報をチェック。
鹿児島国体 検索

<http://kagoshimakokutai2020.jp/>

この広報紙の内容は2017年12月時点のものです。



燃ゆる感動かごしま国体

第75回国民体育大会

2020年10月3日(土)～10月13日(火)



燃ゆる感動かごしま大会

第20回全国障害者スポーツ大会

2020年10月24日(土)～10月26日(月)

カゴスポ

熱い鼓動 風は南から
vol.5
2017.12
2020

第75回国民体育大会・第20回全国障害者スポーツ大会広報紙



テニス/今村 風沙 選手



アーチェリー/永田 道雄 選手

CONTENTS

▶ 愛顔つなぐえひめ国体・愛顔つなぐえひめ大会 鹿児島県勢の結果報告

▶ スポーツを知る カヌー/アーチェリー

▶ かごしま国体・かごしま大会情報 2020年の開催が正式に決定!

▶ アスリートの情熱 今村 風沙さん(テニス)

▶ かごしまっふ 薩摩川内市



音声コード

鹿児島県勢の勇姿に感動!

結果報告!

えがお愛顔つなぐえひめ国体

第72回国民体育大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え

平成29年9月30日(土)～10月10日(火)

9月30日(土)～10月10日(火)(会期前は9月9日(土)～17日(日))にかけて、第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」が開催されました。鹿児島県は選手・監督・役員合わせて456人が参加し、30競技に出場しました。総合開会式では旗手の塩島高朗選手(自転車少年男子)を先頭に、選手団約70人が小旗を振りながら行進しました。20競技65種目に入賞し、男女総合成績の天皇杯が33位、女子総合成績の皇后杯が23位でした。



鹿児島県選手団

1

富尾 大地 選手(鹿屋体育大学3年)
自転車
(成年男子/30kmポイントレース)
「自分の得意とするレース展開に持ち込むことができ、両親の前で優勝できて本当にうれしかったです。日本代表という高い目標を目指して、今後もトレーニングに励みたいです。」

1

柳田 瑛祐 選手(霧島高校2年)
馬術
(少年/ダービー競技)
「昨年はミスをしてしまったので、今年は何が何でも勝つという強い気持ちで臨みました。競技中は集中して慎重かつ大胆にいったのが勝因だと思います。来年は連覇を目指します。」

1

牛留 慶貴 選手(鹿児島実業高校3年)
ライフル射撃
(少年男子/BP40JM)
「国体は数少ない全国大会の場。初出場でしたが、チームのみんながいたのでいつも以上の力が発揮できました。この達成感を、ぜひかごしま国体でも味わいたいです。」

1

坂野 秀亮 選手(鹿屋中央高校3年)
レスリング
(少年男子/74kg級フリースタイル)
「3月の全国選抜大会に続いて優勝することができ、サポートしてくれた家族や監督、仲間には本当感謝しています。大学進学後も日本一になれるよう、頑張っていきたいです。」

- 2位** 下原 卓朗(ウエイトリフティング)、下原 玄大(ウエイトリフティング)、細田 悠太(自転車)、吉川 和宏(ライフル射撃)、下野 伸一郎(陸上競技)、久保木 春佑(陸上競技)、木下 貴輪(レスリング)、県選抜(弓道)
- 3位** 下原 卓朗(ウエイトリフティング)、本 富士雄(馬術)、山内のぞみ(馬術)、吉川 和宏(ライフル射撃)、平田 歩弓(陸上競技)、岩崎 孝史(陸上競技)、本 富士雄・上村 司(馬術)、鹿児島南高校(水球)、県選抜(フェンシング) ※敬称略



選手のみなさん、おつかれさまでした!

県民運動・ボランティア

総合開・閉会式会場や各競技会場などでは、手作りの横断幕・のぼり旗や都道府県応援団による応援、花いっぱい運動など、地元の皆さんによる「まごころ」のこもったおもてなしが行われました。

また、国体・大会期間中は、大会運営、情報支援、選手団サポートなどの分野で、多くのボランティアが会場内を走る運営ボランティアとして活躍しました。

小学生の育てた花でおもてなし

会場案内をする運営ボランティア

48個のメダルと大会新!

結果報告!

えがお愛顔つなぐえひめ大会

第17回全国障害者スポーツ大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え

平成29年10月28日(土)～10月30日(月)

10月28日(土)～10月30日(月)にかけて、第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」が開催されました。鹿児島県からは37名の選手が参加し、陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリングの6競技に出場。金メダル26個を含む計48個のメダルを獲得し、陸上競技では大会新記録も出ました。



鹿児島県選手団

1

田中 鈴那 選手
(鹿児島養護学校高等部2年)
陸上競技(スラローム)
1位(大会新記録)
「新記録で優勝することができ、今まで一緒に練習してくれた先生方や家族に感謝の気持ちでいっぱいです。さらに記録を更新できるよう、頑張っていきたいです。」

1位(敬称略) ※☆は大会新

田中 鈴那(陸上競技)☆、永井 伴哉(陸上競技)、園田 久(陸上競技)、三雲 明美(陸上競技)、有村 かおり(陸上競技)、今吉 圭三(陸上競技)、飯森 幸子(陸上競技)、西 智史(陸上競技)、久木留 清牙(陸上競技)、久保 理香(陸上競技)、久保 理香・宮田 裕大・久木留 清牙・西 智史(陸上競技/4×100mリレー)、上園 保子(水泳)、井上 愛理(水泳)、上村 寿子(アーチェリー)、村田 康司(卓球)、福倉 理代(卓球)、内園 榮(フライングディスク)、辻田 章治(フライングディスク)、有野 藤子(フライングディスク)、中崎 星也(フライングディスク)、大平 勝也(フライングディスク) ※敬称略

※えひめ国体・えひめ大会の結果詳細については、鹿児島県HPでもご覧いただけます。

スポーツを知る

かごしま国体・かごしま大会で実施される競技の魅力を紹介します。

国民体育大会 カヌー

(スプリント、スラローム、ワイルドウォーター)

水のある場所ならどこでも楽しめる

川や湖、海などを悠々と漕ぐスポーツ、カヌー。水や自然との一体感、開放感を感じながら、スポーツの苦手な人でも簡単に楽しめます。しかし、競技ともなれば話は別。カヌーにはさまざまな競技がありますが、国体では一定の距離で着順を争うスプリント、ゲート通過スピードを競うスラローム、流れの激しい川を一気に漕ぎ切るワイルドウォーターの3種目が実施されます。かごしま国体では伊佐市(スプリント)と湧水町(スラローム、ワイルドウォーター)が会場となります。

鹿屋カヌー協会は40年以上の歴史があり、約300人が選手登録しています。現在はかごしま国体に向けて選手を強化している段階。同時に国体後も見据えて、競技が実施できるような河川の整備、審判の育成なども進めています。

全国障害者スポーツ大会 アーチェリー

ぶれない心で的を射つ

アーチェリーは、30mまたは50m離れた的にどれだけ矢を当てられるかを競うスポーツ。的の中心ほど得点が高くなります。体力や体格で勝負が決まるわけではないので、性別や年齢に関係なく楽しめます。そのため、障害者スポーツとしても人気で、ルールも健常者とほぼ変わりません。

弓の違いによってリカーブとコンパウンドの2つの部門に分かれ、それぞれの部門で50・30mラウンドおよび30mダブルラウンドがあります。1エンドに3射(2分以内)し、12エンド36射で1ラウンドといえます。2ラウンドで合計72射を行い、合計得点を競います。

主に屋外で開催されるため、風や雨など気象条件にも左右されますが、最も大切なのはメンタルの強さ。どんな状況にも動じない適応力と平常心が必要とされています。